

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ（葛塚地域） 第 1 回ワークショップの結果概要（案）

2016 年 10 月 1 日（土） 豊栄地区公民館

【財産経営推進計画の基本的な考え方】

■ 公共施設の見直しの必要性

- ・ 人口減少が進む中で将来的に公共施設を減らす必要性があることは理解できるが、減らすことを前提とするのではなく、まずは利用率の向上などを考えることが必要ではないか。いろいろ手を尽くしても他に手段がないのならば納得できる。他の予算を削ることで賄える可能性はないのかなど、根拠を示してしっかり説明してほしい。
- ・ いらぬ施設は 1 つもないと思うが、財政のことを考えると縮小しなければいけないということも理解できる。廃止したい公共施設の数やそれによって削減したい金額、財政をどの程度改善しなければいけないのかなど、市の基本的な考え方をまず聞かせてほしい。
- ・ この地区の公共施設の利用率はある程度高く、市の中で最適化を優先的に進める必要があるとは思えない。もっと公共施設の稼働率や利用率が低い地域から取組んでも良いのではないか。

■ 最適化の考え方

- ・ 利用率などの視点だけを見て最適化するのではなく、高齢者や生活弱者、共働き家庭なども含めた住民の生活のことを考えた上で検討を進めてほしい。利用率が低くても必要なサービスや近くにほしい施設があるはずだ。
- ・ 公共施設の廃止や移設は人の流れを変え、古くからのまちのつくりを壊してしまうのではないかと心配だ。類似施設はすみ分けして共存させる可能性なども検討してほしい。

【公共施設の現状の課題】

■ 地区内の施設バランス

- ・ 駅北は、病院や民間の施設は充実しているものの、公共施設が少ないので、子育てや災害時の避難場所の不足が心配だ。高齢者の避難や今後のまちの発展を見越して、もっと公共施設を充実させてほしい。
- ・ 葛塚東小学校区には児童センターや児童館があるが、葛塚小学校区にはないなど、小学校区ごとに公共施設の整備の状況にばらつきがある。太田地区、葛塚中心部、中心以外の地区、駅北地区を比べても公共施設のバランスも悪いので、地区ごとに課題の認識が異なる。

■施設までのアクセス

- ・ 文化会館や公民館、図書館などの公共施設がまとまっているといっぺんに用事が済ませられるので便利な反面、住んでいる場所によってはアクセスが悪くなり利用しづらくなるのではないか。
- ・ 徒歩で行ける範囲にスポーツ施設など気分転換できる場所がないので、年を取って車が使えなくなると、気晴らしすることも難しくなるのではと心配だ。
- ・ 公共施設の多くは車以外でのアクセスがしづらく、車のない学生や運転できない高齢者などは不便を感じているので、公共交通の充足を図ってほしい。

■利用率

- ・ 眺望の良いビュー福島潟や立派な調理施設など、せっかく良い施設があるのに十分に使われておらずもったいない。
- ・ 地域の公共施設についての情報があまり伝わってこないなので、一部の興味のある人しか利用していないのではないか。施設の利用料金や利用方法など情報が入ってこないし、イベントの情報も目に留まりにくいので、身近に感じられず利用しない。もっと情報発信を工夫する必要がある。
- ・ 文化会館や郷土博物館は魅力的な企画がないから利用率が低いのではないか。活性化するような企画を打ってほしい。
- ・ 公共施設の利用料金が安くなれば利用率も上がるのではないか。また、似たような機能を持つ施設の利用料金に差があるから利用率にも偏りが生じるのではないか。

■運営方法・使い勝手

- ・ 平日仕事をしている人や共働き家庭にとっても使いやすくなるように、開館時間帯や休館日を設定してほしい。
- ・ 公共施設は全体的に建物が薄暗いので、若い世代が利用したいと思わないのではないか。
- ・ 葛塚中学校は、コミュニティセンターとの複合施設だが、バリアフリーでないことや迷路のようで分かりにくい作り、音が反響するなどの問題があるので、複合施設には使いにくいというイメージがある。
- ・ 外観は変わらないのに名称だけが変わり、名前だけではどこの施設を指しているのかがわからない施設もある。情報提供不足による認識の低さが使われない一因ではないか。

■子育て支援

- ・ 保育園の空きがなくて入れない場合や、別地区の保育園や兄弟姉妹で別々の保育園に通っている場合もあるなど。保育園がたりない状況を改善してほしい。
- ・ 保育園や学童の施設の老朽化が進んでいる、スペースが狭いことや、トイレや部屋が全体的に暗いこと、小学校と学童保育が離れていて利用しづらいことなどの問題があるので、安心安全で快適に利用できる様に改善してほしい。
- ・ 児童館など、子どもが安心して過ごせる場所が少ないことに加え、既存の施設には狭い施設もあり、また、耐震面でも不安がある。

【公共施設に対する提案・要望】

■望まれる機能

- ・ 子どもと高齢者など異なる世代が交流できる場が少なくなったので、多世代交流のための施設がまちなかにあると良い。
- ・ 学生が気軽に立ち寄って溜まることができ、まちの情報も発信できる場があると、地域との接点が生まれ、若い人のパワーをまちづくりに生かせるのではないか。
- ・ 行政窓口で行う事務手続はコンビニでも済む時代であり、文化施設もイベント時のみに利用する場ではなくなった。日常的に人が集まり、そこから周辺地域に人が流れ活性化させるような公共施設がまち中に必要だ。
- ・ 北区文化会館のような新しく広い建物には、防災機能を充実させてほしい。
- ・ 子育て中の母親が集まれる施設や、調理室の使える施設、レジャー施設、児童館、新しいコミュニティセンターなど、住民の生活の充実につながる施設があると良い。

■施設の統合

- ・ 公共施設が集約され、多機能化が図られれば、用件を一カ所で済ませられるなど、サービスが充実し便利になるので良い。
- ・ 施設が集約されると施設が遠くなりアクセス面で不便になる地区も出てくるのではないか。特に高齢者は車の運転ができなくなるので、歩いていける距離に施設がある方が良い。
- ・ 同様の機能を持つ施設や似たような使われ方をしている施設が近接している場合には、統合しても良いのではないか。例えば豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターは、一元管理して業務を簡素化し、郷土博物館を他の展示施設と統合できる可能性があると思う。
- ・ 公共施設の統合や廃止の際には、役割や機能のすみ分けを再整理し、必要な機能がなくならないよう、慎重に検討をしてほしい。

■ 新設区役所

- ・ 区役所を文化会館、公民館、図書館などがあるエリアに新設し、機能を集約化や施設間の相互連携が図られると良い。アクセスが不便になる地域が増える点については、交通サービスを充実させることで解決できるのではないかと。
- ・ 文化会館や公民館、図書館などがあるエリアに区役所が移転すると、アクセスする車がさらに多くなるので、道路渋滞などの問題が出ないか心配だ。
- ・ 新しい区役所の敷地確保のために公民館やコミュニティセンターなどの既存施設が壊されてしまうことで、そこで行われてきた活動ができなくなるのではと心配だ。
- ・ 新設区役所に葛塚コミュニティセンターの機能を入れれば、豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターを行政側で一元管理できるし、コミュニティセンターの認知度も上がると思う。

■ 太田小学校跡地

- ・ 太田小学校は太田地区では一番高い 3 階建ての建物であり、水害時の避難所だったので、この建物がなくなってしまうと津波の時などにどこに逃げれば良いのか心配だ。太田小学校自体がなくなっても、建物は避難所として残してほしい。それが無理なら地区内の他の場所に避難所を確保してほしい。
- ・ 太田小学校跡地利用についてこれまで積み重ねてきた議論を生かしつつ、実現化に向けた話し合いを更にしていきたい。運営方法も含め、早く市に方向性を示してほしい。
- ・ 太田小学校の体育館は丈夫で、現在も夜間は毎日のようにスポーツ系団体の利用者で賑わっているため、閉校後も是非残してほしい。

【検討の進め方】

■ ワークショップの進め方

- ・ ワークショップで議論するテーマを事前に具体的に示してもらった方が、考える時間があるので意見が言いやすい。
- ・ 公共施設の課題は何かと問われても話が大きすぎて意見を言いにくい。個別の施設を事例的に検証したり、どうやって利用率を上げるのか、どんな層にどんな利用方法を推進するのかなど、もっと細部の検討をする必要があるのではないかと。
- ・ 今回の開催時間帯は参加しづらいので、食事の準備などと重ならず、夜遅くならない終了時間にし、長さも検討してほしい。

■情報提供

- ・ 事前に資料を送付してもらっても内容が難しいため自分で読んだだけでは理解ができない。ワークショップの場でもう少しゆっくり説明してほしい。
- ・ 保育園の施設状況や待機児童人数、将来的な人口減少に伴う利用状況の変化など、議論のために必要な現況のデータを示し、説明してもらえると、より有意義な議論ができると思う。

■意見の反映

- ・ 「ワークショップでは物事を決めず最終的には市が責任を持って決める」と言われると、市には既に考えがあり、このワークショップはアリバイ作りではないかという疑念を感じる。話したことが無駄にならない様にしてほしいし、もし既に方針があるなら先に示したもらった方が良い。
- ・ 出された意見を聞くだけでなく実現の可能性があるのか検証した上で、受け入れられるのなら反映し、受け入れられなければその理由を示すなど、結果を具体的に返答してほしい。そうしないと参加している意義が感じられない。
- ・ ワークショップで多様な意見が出る中で話がまとまるのか、最終的な案の方向性や地域の方向性が決まるのか疑問に思う。
- ・ 太田小学校の跡地のあり方については既にコミュニティ協議会の検討委員会で話を進めているのに、このワークショップでも検討すると言われると、これまでの議論は何だったのかとってしまう。検討委員会の思いや取組みを踏まえて話し合いを進めてほしい。